

Hapysan[®]

取扱説明をよくお読みのうえ
保管し、必要な時にお読みください。

■安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 危険	⚠ 警告
■分解や改造をしない ●故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因となります。※ 製品廃棄時の分解は除く	■水につけない ●発熱・破裂の原因となります。
■火の中に投入したり加熱したりしない ・高温での充電・使用・放置しない ・電子レンジやオーブンなどで加熱しない	■付属の USB 充電ケーブルを使用し、指定の方法で充電する
●発熱・発火・破裂の原因となります。	●守らないと発熱・発火・破裂の原因となります。
⚠ 警告	⚠ 注意
■異常・故障時には直ちに使用を中止する ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・内部に水や異物が入った ・本体やUSB充電ケーブルが破損した	■強い衝撃を与えたり投げたりしない ●発熱・発火・破裂の原因となります。
●そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	●光源を直視しない ●目を痛める原因となります。

■仕様		
使用電池	リチウムイオン電池 3.7V 500mAh	使用光源 白色LED
中心照度	約 15 lx (10m 前方)	使用温度範囲 -10 ～ 40 ℃
充電時間	約 3 時間	防水性 IPX 5
電池寿命	連続点灯約 2 時間 (20 ℃時)	本体質量 約 60 g
付属品	ホルダー (梱包時、本体に装着済)、M6 ねじ、M6 ナット、歯付座金、USB 充電ケーブル	本体寸法 約 33 × 80 × 44 (mm)

■各部のなまえと使いかた

充電のしかた ※ 本体をホルダーから取り外して充電してください。
(取扱説明書の「取り付けかた」参照) ■ 本体着脱のしかた 参照)

① 端子カバーをめくる

② USB 充電ケーブルを ①の 2 か所に接続し、充電を開始する

※ 充電中はスイッチが赤く点灯し、充電完了後は消灯します。

③ 充電完了後、USB 充電ケーブルを抜き、端子カバーを元の位置にしっかりと押しこんで閉める

※ 端子カバーをしっかりと押しこまないと防水性が確保できない場合があります。

② USB Type - C 型端子

めくる

接続する

USB C 型プラグ

USB A 型プラグ

接続する

① 起動中の PC 等の USB A 型端子

赤色点灯 充電中

消灯 充電完了

本体

スイッチ

端子カバー

- 自転車への取り付けは販売店へお任せください。
- アフターサービスなどについてのお問い合わせはお買い上げの販売店または下記お問い合わせ先にご連絡ください。

山田電器工業株式会社
Made in China

〒571-0045
大阪府門真市殿島町 1 番 3 号
お問い合わせ先

☎ 0120-810-575

《土、日、祝日は除く 9:00 ~ 17:00》

※1 RoHS 指令に基づく特定環境負荷物質を
使用していません。



T4571383194472

Y0223N0

YB-130-K
(ブラック)
充電式
スマートランプ
(前フォーク取付用)

■各部のなまえと使いかた (つづき)

取り付けかた ※ 自転車への取り付けは販売店にお任せください。

●前フォークの取付部 に下図のように
取り付け

※ 光源部の向きが水平方向より上向きとなるように
取り付けしてしまうと対向車 (者) の視界を妨害する
おそれがあります。照射角度は路面を照らすよう
な角度に調整してください。(前方約 5~10m)

※ M6 ナットが回らなくなるまでしっかり締め付けて
固定してください。

■取り付け後のイメージ

前フォーク

取付部

光源部

取付金具

M6 ナット

取付部

歯付座金

M6 ねじ

前フォーク

■本体着脱のしかた (充電時や盗難防止に)

○ロックボタンを押しながら
本体を引き抜くと取り外す
ことができます。

※ 本体をホルダーへ取り付ける
場合は「カチッ」と音が
するまでしっかりと差し
込んでください。

ホルダー

本体

ロックボタン

■スイッチ操作のしかた

●スイッチを押してモードを切り替える

■各モードについて

自動点灯モード ・ ・ 暗いところで走行すると自動で光源部が
点灯し、信号待ちなどで約 5 秒間走行を
止めると約 30 秒間点滅します。
⇒ 信号待ちモード

常時点灯モード ・ ・ 光源部が点灯し続けます。

※ 常時点灯モード時は約 10 秒間走行を止めると、節電のため明るさが
約 60% に落ちます。

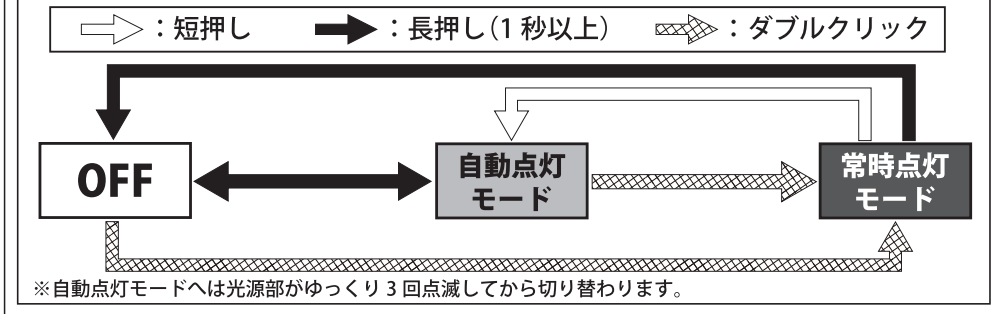
■点灯確認のしかた

○モードを自動点灯モードに切り替えて
照度センサーを手で覆い、本体を
軽く揺らすことで点灯するかを確認できます。

※ 点灯しない場合は充電してください。

照度センサー

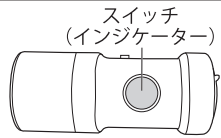
■スイッチ操作によるモード切替について



取扱説明書

■インジケーター機能について

○電池残量が少なくなるとスイッチがインジケーターの役割となり赤色に
点灯します。赤色に点灯したら早めに充電するようにしてください。
※スイッチ (インジケーター) が赤色点灯しても約 30 分間は光源部が点灯し
続けますが、それ以降はインジケーターと光源部が点滅後、消灯します。
(光源部が点滅状態での夜間走行はお止めください。法令違反となります。)



■製品廃棄時の電池パックのリサイクルについて

⚠ 危険

■取り出した電池パックは再利用しない
■取り出した電池パックは以下のことをしない

- ・火中投入、加熱、水中投入しない
- ・分解、改造しない
- ・くぎを刺したり、衝撃を与えたりしない
- ・コネクタ部に金属などを接触させない
- ・金属類と一緒に持ち運んだり保管しない
- ・直射日光のあたる場所や高温の場所に放置しない

●発熱・発火・破裂の原因となります。

●電池の液が目、皮ふに付着したときはすぐに
多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

●守らないと失明やケガのおそれがあります。

⚠ 警告

■電池が液もれしていたり、異臭がするときには
火気より遠ざける

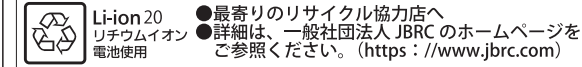
●守らないと液もれした電解液に引火して
破裂・発火する原因となります。

※ スイッチを入れても LED が点灯しない状態を確認してから電池パックの取りはずしを行ってください。
※ 止めネジの取り外しは市販のプラスドライバーをご使用ください。
※ 製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。下記は製品を廃棄する際に内蔵している電池パックを
取り出すための説明であり、修理の説明ではありません。一度分解すると、修復はできません。

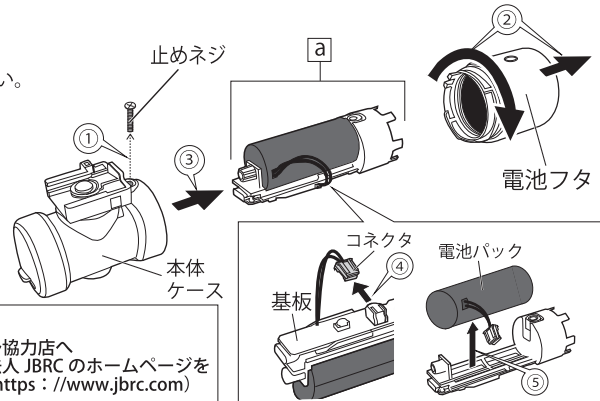
- ① 本体ケースの止めネジをはずす
- ② 電池フタをはずす
- ③ 本体ケースから [a] を引き抜く
- ④ [a] の基板のコネクタを引き抜く
- ⑤ 電池パックを取りはずす

※ 矢印方向に回してからはずしてください。
※ 両面テープで固定されているため
強い力で引き抜いてください。

■使用済み電池の届け先



●最寄りのリサイクル協力店へ
●詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページを
ご参照ください。(https://www.jbrc.com)



■取り扱い上のご注意

- 内部の LED は交換できません。
- 初めてご使用になるとき、長時間で使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 長期間で使用にならないときでも 1 年に 1 回は充電してください。
- 本製品は防水構造ではありませんので水洗いできません。汚れは水または適量に薄めた台所用洗剤 (中性) を
布に含ませてふき取ってください。
- 走行中にスイッチ操作をしないでください。
- 安全に乗りいただくために走行前に取り付けのガタやゆるみがないかを確認してください。
- 安全に乗りいただくために走行前に点灯の確認をしてください。
- ※ 無灯火での夜間乗車は法令違反となります。
- 本体を自転車から取り外した際はスイッチを長押しして電源を OFF にしてください。
- ※ カバンなどの暗所で自動で点灯し、電池が消耗する場合があります。